

情報公開文書

研究の名称	慢性疼痛患者に対するインターベンション治療の有効性と治療反応性に関する患者背景因子：後ろ向き観察研究
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学学術研究部医学系 麻酔科学講座 伊東久勝
	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】</p> <p>この研究は、慢性的に続く痛み（慢性疼痛）のある患者さんに対して行われている「インターベンション治療」という低侵襲な治療が、どのような患者さんにより効果が出やすいのかを調べることを目的としています。</p> <p>本研究は、すでに診療の中で記録されている電子カルテの情報を用いて行う後ろ向きの研究です。新たな検査や治療を行うことはなく、患者さんに新たな負担が生じることはありません。診療録に記載されている年齢や性別、痛みの程度、生活への影響、治療内容などの情報を用いて分析を行います。</p> <p>研究に使用するデータは、個人が特定されないように匿名化したうえで管理し、本研究の目的以外に使用することはありません。この研究で得られた結果は、今後の慢性疼痛の治療をより良いものにするために役立てられることが期待されます。</p> <p>【研究期間】</p> <p>実施許可日～2027年03月31日</p> <p>①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）</p> <p>【研究対象者】</p> <p>慢性疼痛（3か月以上続く痛み）に対して、2025年4月から2025年12月までの期間に、富山大学附属病院でインターベンション治療（高周波熱凝固・パルス高周波または、カテーテル的硬膜外腔剥離術）を受けた患者さんです。</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】</p> <p>本研究は、特定の企業、団体等からの研究資金の提供を受けず、研究責任者が所属する富山大学附属病院の診療および研究活動の一環として実施されます。実施にあたり、研究責任者および研究分担者に開示すべき利益相反はありません。</p> <p>【個人情報の取扱い】</p> <p>本研究では、診療の過程で得られた電子カルテの情報を使用します。研究に使用する際には、氏名や患者番号など、個人を直接特定できる情報は削除し、個人が特定されないように匿名化したうえで解析を行います。</p> <p>匿名化の際に用いる対応表は、研究責任者が適切に管理し、パスワード等によるアクセス制限を設けた環境下で厳重に保管します。研究に使用するデータは、本研究に関わる研究者のみが閲覧・解析を行い、研究目的以外に使用することはありません。</p> <p>また、本研究で取得した個人情報を第三者や他の研究機関へ提供することは</p>

	<p>ありません。研究終了後は、富山大学附属病院の規定に従い、適切な方法でデータを管理または廃棄します。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究の結果は、日本ペインクリニック学会での発表および日本ペインクリニック学会誌への投稿を予定しています。</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 無</p> <p>【外国にある者への提供について】 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】 本研究では、新たな検査や試料（血液や組織など）の採取は行いません。診療の中すでに記録されている電子カルテの情報のみを使用します。</p> <p>研究に使用する情報は、以下の項目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別 ・診断名（主な痛みの原因となっている病名） ・痛みが続いている期間 ・痛みの強さ（数値で評価した痛みの程度） ・痛みによる日常生活への影響 ・不安や気分の落ち込み、睡眠の状態などの心理的な状態 ・インターベンション治療の実施状況 ・薬物療法（痛み止めやその他の内服薬）の内容 ・リハビリテーションや心理療法など、併用されている治療の有無 <p>これらの情報はすべて、診療目的で取得された既存の記録であり、本研究のために新たに取得するものではありません。</p>
③利用又は提供を開始する予定日	<p>【利用又は提供を開始する予定日】 2026年1月31日予定（研究期間の長の許可後）</p>
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	<p>本研究において、試料および情報の他機関への提供は行いません。 研究で使用する情報は、すべて富山大学附属病院において取得・管理され、当該機関内で解析を行います。</p>
⑤提供する試料・情報の取得の方法	<p>本研究で使用する情報は、富山大学附属病院における通常診療の過程で取得された電子カルテの診療記録から取得します。</p> <p>対象期間中に慢性疼痛に対してインターベンション治療（高周波熱凝固・パルス高周波または、カテーテル的硬膜外腔剥離術）を実施した患者について、研究責任者が電子カルテを参照し、研究に必要な情報を抽出します。</p> <p>本研究では、研究目的による新たな検査、治療、試料（血液や組織等）の採取は行いません。取得する情報は、すべて診療目的で既に取得されている既存データです。</p> <p>なお、本研究において他機関から試料・情報の提供を受けることはなく、情報の取得および解析はすべて富山大学附属病院内で行います。</p>
⑥利用する者の範囲	<p>本研究は単施設研究であり、共同研究機関、研究協力機関、ならびに外部委託先はありません。試料・情報が他機関や第三者に提供されることなく、解析および管理はすべて富山大学附属病院内で実施します。</p> <p>研究実施機関：富山大学附属病院 研究責任者：伊東 久勝（富山大学 学術研究部 医学系 講師）</p>

【臨床疫学様式】情報公開文書（多機関・代表機関用）

2025年12月23日 第1.1版

⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	<p>研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。</p> <p>電話番号：076-434-7377 E-mail：hisa@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学学術研究部医学系麻酔科学講座・伊東久勝</p>